

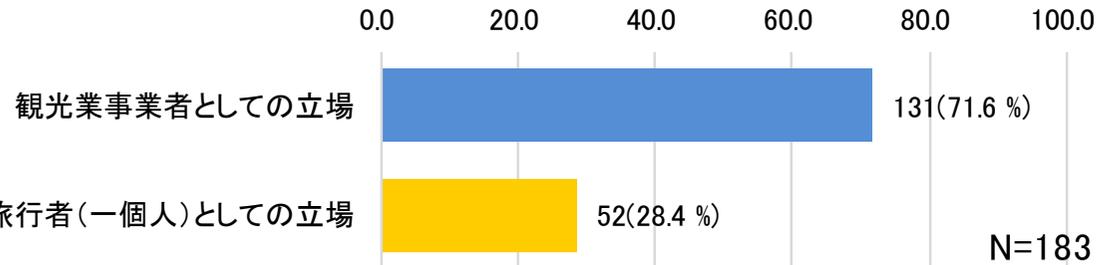
観光振興に資する社会資本整備の ニーズ等に関するアンケート調査

平成29年11月27日

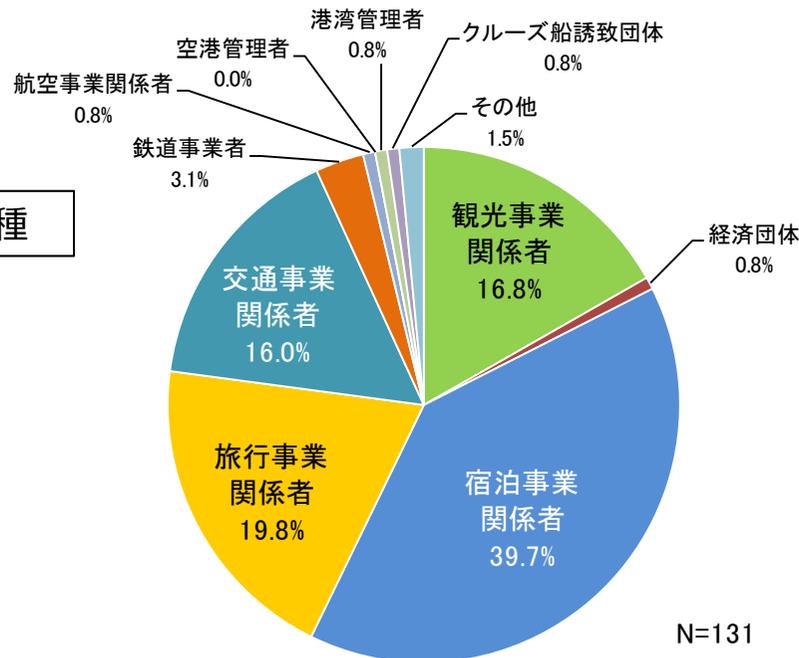
アンケート調査の概要

- 社会資本整備の今後の取組の参考とするため、「観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議」の構成員である観光関係事業者等にWebアンケートを実施。
 期間：平成29年11月1日～9日
 アンケート依頼先：宿泊業団体、旅行業団体、交通事業者団体の930社（幹事会社からの依頼）
 回答数（回答率）：183件（19.7%）
- 出発地（自宅等）から目的地（観光地等）までの移動経路（9パターン）のなかで“悪かった、よくなかった”と感じた“交通手段や場所”“その課題”について質問し回答を得た。
- また、回答者の一般旅行者として経験した“よかった旅”について“良かった内容”を質問し、利用者の着目点を整理した。

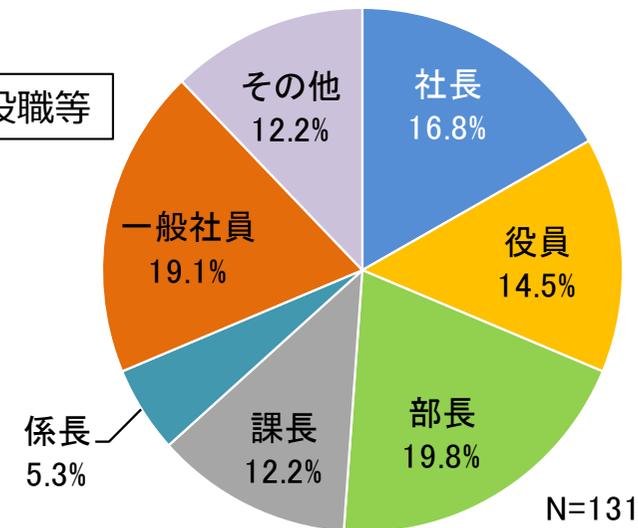
Q：ご回答いただいた立場



Q：業種



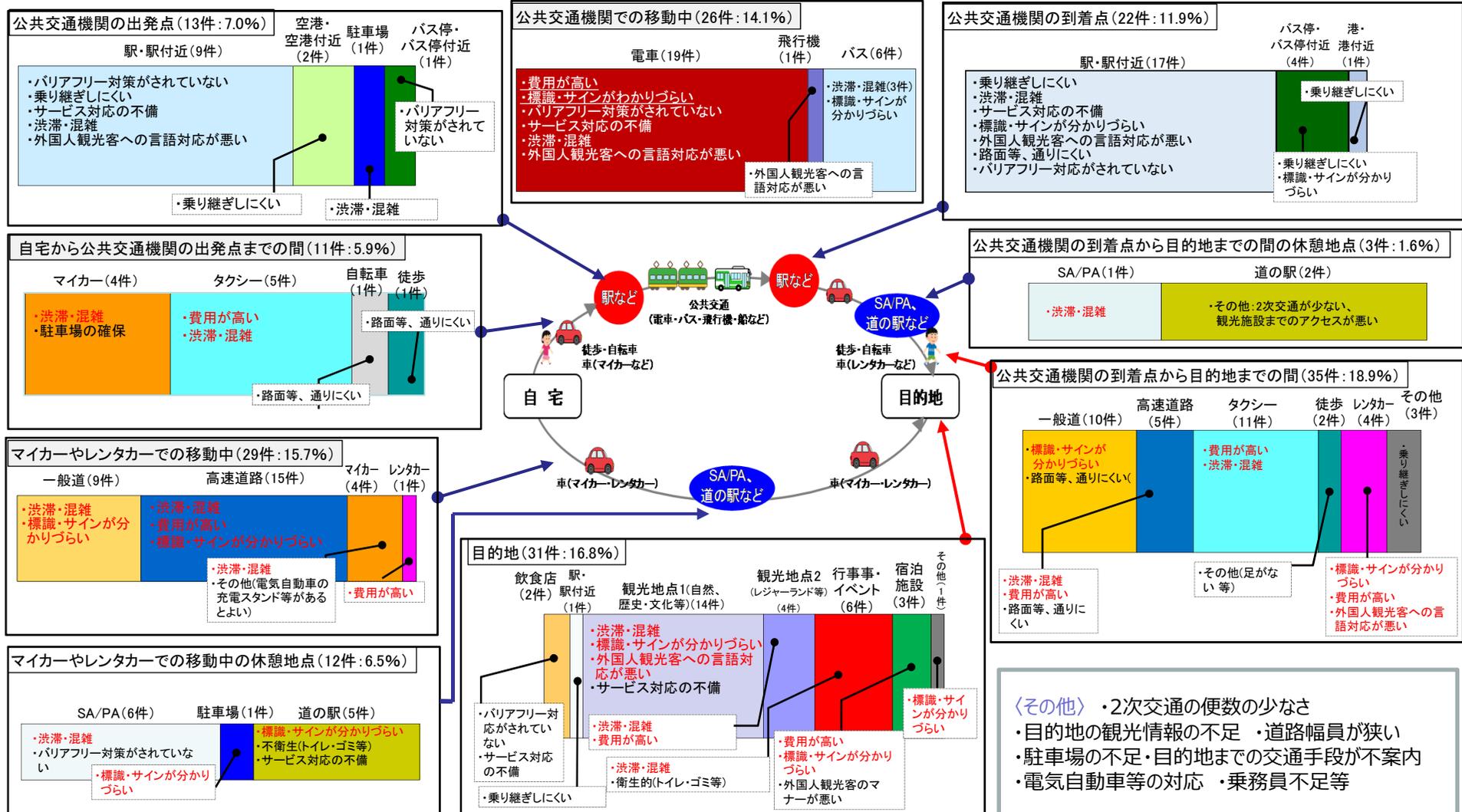
Q：役職等



観光地への経路に関するアンケート結果

Q：中部地域の観光の課題（観光関係事業者としての視点で最大3経路回答可能で設問、N=185）

- 公共交通機関の到着点から目的地及び目的地への回答数が多く、**利用料金、渋滞混雑、不案内等**への指摘が多い。（下赤矢印線、赤文字）
- 目的地周辺での回答では、自然歴史文化系観光地での案内不足や外国人対応不足等の指摘が多い。
- 施設の不衛生、サービス対応の不備等の指摘もあった。

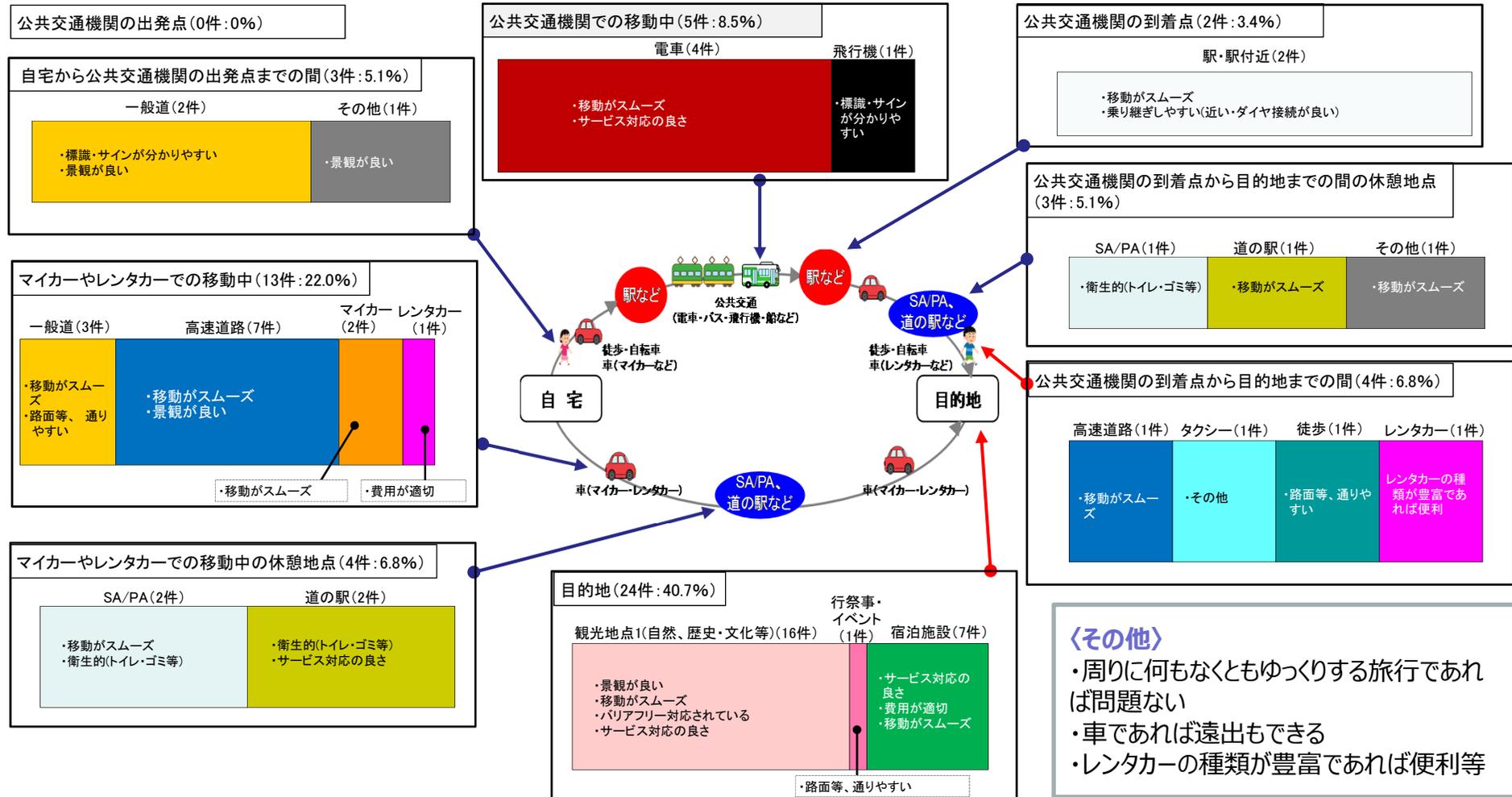


※悪かった旅の回答では、マイカーやレンタカーの移動時に、高速道路で渋滞・混雑したこと、船の費用が高いことがあげられていた

観光地への経路に関するアンケート結果

Q：中部地域の観光の課題（観光関係事業者が一般旅行者の視点で最大3経路回答可能で設問）

- 観光関係事業者の回答と一般旅行者としての回答は同様の傾向であり着目点の差異は見られない。（下赤矢印線）
- 自然歴史文化系観光地での景観の良さ、移動がスムーズ、バリアフリー対応やサービスの良さへの回答が多い。
- マイカーやレンタカーの移動での回答では、高速道路の景観の良さ、移動がスムーズであるとの回答があった。

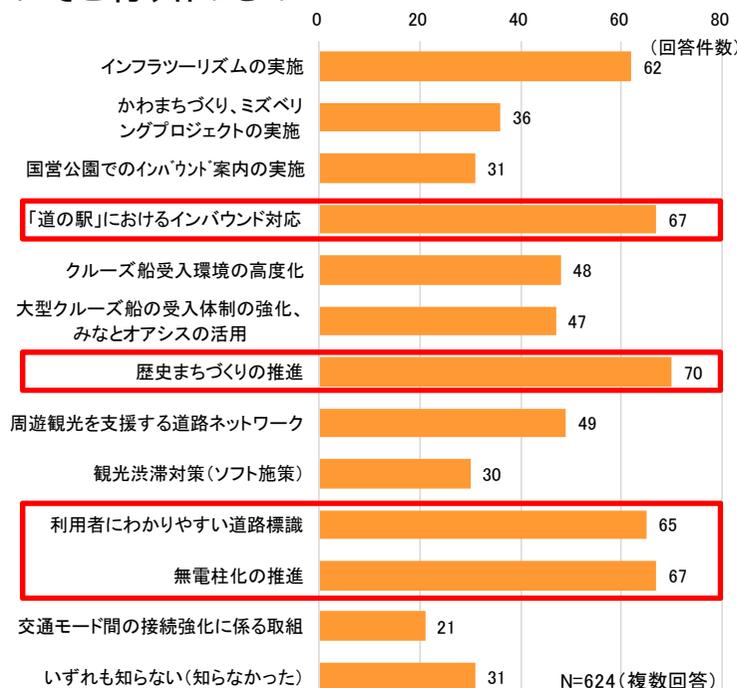


※最も悪かった旅では、マイカーやレンタカーの移動時に、高速道路で渋滞・混雑したこと、船の費用が高いことがあげられていた

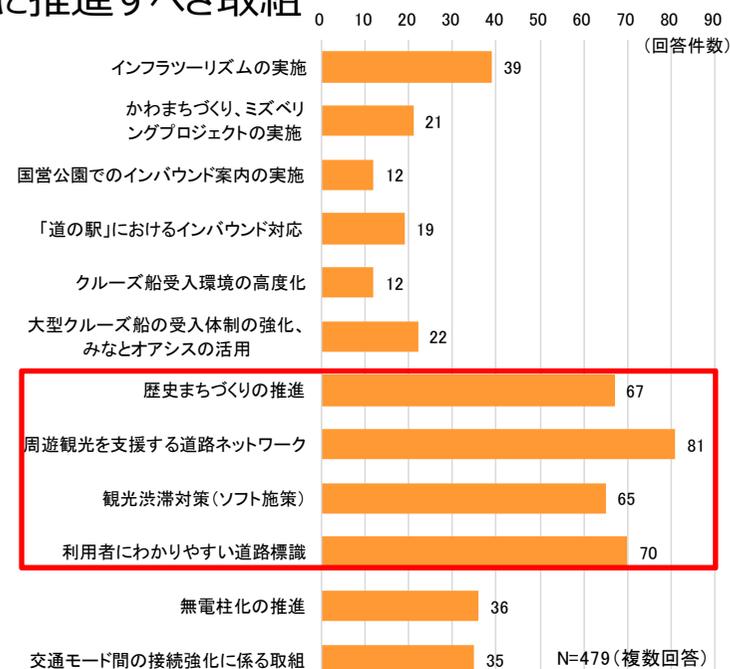
整備局の観光施策に関するアンケート調査

- ◆認知度が高いのは「歴史まちづくりの推進」「道の駅におけるインバウンド対応」「無電中化の推進」「利用者にわかりやすい道路標識」。
- ◆今後推進すべき施策として挙げられていたのは「周遊観光を支援する道路ネットワーク」「利用者に分かりやすい道路標識」「歴史まちづくりの推進」「観光渋滞対策（ソフト施策）」。

Q：取組についてご存知のもの



Q：特に推進すべき取組



〈自由意見で挙げられた施策の主な改善ポイント〉

- ・インフラツーリズム（観光事業者：規制緩和／一般旅行者：見学の休日対応）
- ・道の駅のインバウンド対応（多言語化、魅力の伝達）
- ・歴史まちづくり（歴史観光施設等のPR、多言語含む案内の作成）
- ・周遊観光を支援する道路ネットワーク（中部国際空港からのネットワーク、伊豆縦貫道の整備、多言語化、渋滞解消）
- ・利用者にわかりやすい道路標識（多言語対応、観光地名称の併記）
- ・無電柱化の推進

インフラツーリズム

・一過性にならない継続的な宣伝等の取り組みが必要。・普段見学できない施設、場所へのアクセス整備が必要。

かわまちづくり、ミズベリング

・堀川(名古屋市)の利用。・河川の水質改善。・日本の原風景を活かした景観整備。

国営公園

・国営公園そのものの海外PR。・訪日外国人に対応した案内が必要。

道の駅

・訪日外国人に対応した多言語の案内が必要。・道の駅の特徴である地域の特産品紹介の外国語表記が必要。
・Wifi接続は、認証方式の改良(毎回、認証が必要)や回線速度等の改善が必要。

クルーズ船受入環境

・多数客に対応できる施設整備が必要。・寄港地の観光の充実。

大型クルーズ体制強化、みなとオアシス

・大型船寄港可能な港湾の整備。・船舶数の更なる増加誘致。みなと周辺の魅力あるまちづくり
・多数客に対応できる施設整備が必要。・寄港地の観光の充実。

歴史まちづくり

・地域の特色を活かした地元主体観光プランの造成。歴史資源を掘り起こし史実の編纂しPRが必要。
・歴史、体験、景観等の綺麗でわかりやすい多言語対応の案内板、パンフレット整備。
・人材・後継者の確保、ガイド等の育成

周遊観光を支援する道路ネットワーク

・周遊などの割引通行料金の導入、拡大。広域的な連携が必要。
・目的地を繋ぐだけではなく、経路上の景観や立ち寄りスポット等を一体で案内してほしい。
・レンタカーの外国人利用促進と安全性の確保
・観光渋滞を補完する生活道路の整備が必要。

利用者にわかりやすい道路標識

・道路標識に地点名ではなく観光地や駐車場を表示してほしい。スマートフォンとカーナビの連動。
・FIT外国人への現在地認識ツールの検討。・夜間でも認識しやすい工夫が必要。
・高速道路誘導表示に観光地からの距離を表示してほしい。
・観光地もナンバリングしてほしい。交通表示等の国際標準化(とまれ=STOP)

無電柱化

・景観保全でも必要。・対象地域の拡大、歩道整備。・狭隘道路こそ取り組んでほしい。

中部地整への意見

・観光事業者等との連携強化。・交通結節点に目的地のわかりやすい周辺地図の掲示。
・道路の拡幅や適切な維持・管理等の早期対応。
・地方担当者や実務者等と直接お話できる機会・場所がほしい。